令和９年度　広島大学大学院教育人文社会科学研究科入学試験　専門科目
教育科学専攻　教授学習科学プログラム　教授創成科学コース　技術情報教育学分野

出題の意図等

技術情報教育学分野では，学校教育の教育内容や教育方法に関する基本的な知識・技能を共通の基盤としつつ，自身の研究課題に取り組むための専門的知識・技能を有する人材を求めている。そのため，研究領域ごとに必須問題と選択問題を設定している。それぞれにおける出題の意図等は，下のとおりである。
なお，本科目の問題は，一義的な解答が示せない記述式の問題を含む。解答の多様性や独自性は大学院入学試験における重要な評価ポイントであるため，解答又は解答例の記載を省略する。

技術教育学

問題１（必須問題）

技術教育学及び技術に関する重要概念，重要用語についての基礎的知識と説明力を問う問題である。
（解答のポイント）技術教育学及び技術に関する基本的な概念用語について，正確な知識を有しているか，適切に説明できるかを評価する。

問題２・３・４（選択問題）

技術に関する重要概念，重要用語についての専門的知識と説明力を問う問題である。
（解答のポイント）出題された項目について，正確に理解し，科学的に説明できるか，問題文に沿って適切に説明できるかを評価する。いずれにおいても，論理的に矛盾なく構成された解答であることが重要である。

情報教育学

問題５（必須問題）

情報教育学及び情報に関する重要概念，重要用語についての基礎的知識と説明力を問う問題である。
（解答のポイント）情報教育学及び情報に関する基本的な概念用語について，正確な知識を有しているか，適切に説明できるかを評価する。

問題６・７・８（選択問題）

情報に関する重要概念，重要用語についての専門的知識と説明力を問う問題である。
（解答のポイント）出題された項目について，正確に理解し，科学的に説明できるか，問題文に沿って適切に説明できるかを評価する。いずれにおいても，論理的に矛盾なく構成された解答であることが重要である。